

海洋温暖化と東北の魚たち

私達が秋の味覚として親しんでいるサンマ、サケ、スルメイカは、大不漁が続いています。このような事象については、乱獲が原因、地球温暖化の影響と報道されがちです。しかし、多くの魚類資源は、数十年スケールの環境変動によって増減を繰り返しています。

とはいえ、宮城沿岸の表面海水温は2015年を境に1~2度上昇しています。親潮が弱くなったり、いろいろな黒潮系の生物の分布が北上しており、海洋温暖化が関係している可能性が高いようです。

今回、東北の漁業資源と海洋環境の状態を把握しながら、これからどのように海の恵みを得ていけばいいかを考えていきたいと思えます。

片山 知史 氏

東北大学大学院農学研究科教授
放送大学宮城学習センター客員教授



1966年東京生まれ

東北大学農学部卒業 専門は沿岸資源学

主著

『魚と放射能汚染』芽ばえ社、『漁業科学とレジームシフト』東北大学出版会、

『耳石が語る魚の生い立ち 雄弁な小骨の生態学』『沿岸資源調査法』恒星社厚生閣など

開催日時

8月24日(土) 13:30~15:10(開場/12:45)

会場

東北大学
片平さくらホール(2階)

*駐車場はございませんので、ご来場の際は
公共交通機関をご利用ください。

*地下鉄「青葉通一番町駅」から徒歩約10分。



定員

120名(事前申込制)

入場
無料

申込み先

参加を希望される方は、電話または下記URL、QRコードのいずれかで
事前申し込みをお願いします。

☎(022)224-0651

<https://forms.gle/GyZG7nuj3clVjFmb7>

*お預かりした個人情報は講演会に関する連絡のみに利用いたします。



問合せ先

放送大学宮城学習センター

仙台市青葉区片平 2-1-1(東北大学片平キャンパス内) TEL:022-224-0651

10月
入学生

募集中!